

# ちばの博物館

<http://www.chibahaku.skr.jp/hp/>

発行・編集  
千葉県博物館協会  
〒260-8682  
千葉市中央区青葉町955番地  
千葉県立中央博物館  
TEL.043-265-3111

## ふるさとの歴史と自然をたずねて —君津市立久留里城址資料館—

君津市立久留里城址資料館は、戦国時代から上総の山城として知られる久留里城の二の丸跡にあります。昭和54年（1979）に開館し、良好に保存された城の遺構と、四季折々の美しさをみせる恵まれた自然環境のなか、城とふるさと君津を知る資料を展示・紹介しています。

城山最高所の本丸跡には、市の観光シンボルとなる天守閣も建てられ、周辺遺構には理解を促す標柱や解説板を設置、自生する植物を身近に鑑賞できるよう遊歩道を整備しています。訪れる人々に気軽に歴史と自然の両面を楽しんでいただこうと努めています。

資料館では、「ふるさとの歴史と自然をたずねて」をメインテーマに展示活動を行っています。

1階ホールには、かつての久留里城と城下の様子を伝えるため、江戸時代の絵図をもとに作られた城郭模型を備え、歴代城主の変遷を、年表パネルを用いて分かりやすく紹介しています。

2階のワンフロアーが展示室で、久留里城の歴史関係資料を紹介する「城と武士」のコーナーのほか、「郷土を掘る」・「信仰と文化」などのテーマを設け、市内の考古・民俗分野も取り上げています。

建物周辺（中庭）には、近年注目されている明治時代に君津地方で考案された掘抜井戸の掘削技術「上総掘り」の足場（櫓）を復元、また久留里藩ゆかりの人物で、江戸時代の学者・政治家として著名な新井白石の銅像も建っています。戦国時代の里見氏と北条氏が争ったと伝わる古戦場や、江戸時代の黒田氏のころの三の丸跡が見下ろせる絶壁からの眺望も見応えがあります。

展示活動は、常設展のほかにも、秋の約2か月は城や君津の歴史にちなんだ企画展、また地域の新出資料などを紹介するミニ展示も都度、実施しています。調査研究については、市民と調査隊を組んで資料解読や整理作業にあたることも多く、教育普及としては、市内に残る風化されつつある史跡めぐり、久留里城と同様、戦国時代の息吹を伝える中世城郭の探訪講座などを開催しています。

IPM（総合的有害生物管理）にもとづく資料の保存環境づくりに力を入れており、年間計画を策定して、職員・警備員・清掃員が一丸となって取り組んでいます。

◆開館時間／午前9時から午後4時30分まで

◆休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日に重なる場合は開館し、翌日休館）  
祝日の翌日・年末年始（12月28日～1月4日）

◆入館料／無料

◆問い合わせ先／電話 0439-27-3478 FAX 0439-27-3452

◆ホームページ／<https://www.city.kimitsu.lg.jp/soshiki/54/>

◆アクセス／1. 鉄道 JR 久留里線久留里駅から徒歩約35分

2. 高速バス 東京鴨川線・千葉鴨川線 久留里駅前バス停から徒歩約30分  
久留里城三の丸跡バス停から徒歩約15分

3. 自家用車 圏央道木更津東 IC から鴨川方面へ約15分



▲資料館（二の丸跡）



▲天守閣（本丸跡）



▲展示室「城と武士」



▲城址空中写真

# 大網白里市デジタル博物館の公開について

大網白里市教育委員会 武田 剛朗

たかあき  
剛朗

## 1 デジタル博物館の立ち上げまでの経緯

大網白里市は、開発により発掘調査が行われた大網山田台遺跡群を代表とする考古資料や、江戸時代から昭和40年代までの断続的ないわしの豊漁により繁栄した「いわし文化」に基づく歴史・民俗資料、篆刻家の石井雙石や日本画家の石井林響・斉藤巻石といった芸術家による作品など、貴重な文化資源が多く残されている。こうした文化資源を活用するために、これまでに博物館や郷土資料館、美術館といった展示施設を検討した経緯があったが、現在のところまだ建設に至っていない。そのため、貴重な文化資源を公開することができない状態が続き、市民が文化資源に気軽に親しむ環境が整っていないという「弱み」があった。そこで、「大網白里市総合計画」の施策のひとつである「デジタル博物館」の構想について、平成27年度に検討を始めた。

まず、「大網白里市は文化資源の公開・活用においては、千葉県・近隣の市町村と比べて遅れている」ということを念頭に置き、より専門的に、文化財学や博物館学の考えに即したシステムの構築を目指し、コンセプトを「館を持たない自治体が提案する本格的デジタル博物館」とした。

以上のコンセプトで計画を進めながら、また、他の自治体の事例を検証したところ、デジタルミュージアム（アーカイブ）と名の付くものは多くあるが、「博

物館や資料館の宣伝のためのサイト」が多く、その他としては「指定文化財の紹介ページ」というものも多く、「本格的デジタル博物館」はごく少数であるということに気付いた。また、大網白里市のように「館を持たない自治体」で、着手しているところは更に少数に絞られることがわかった。本市で実現すれば「千葉県内では初」、「国内でも希少」な事例となり、シティプロモーションの面からも、「強み」となるということが想像できた。

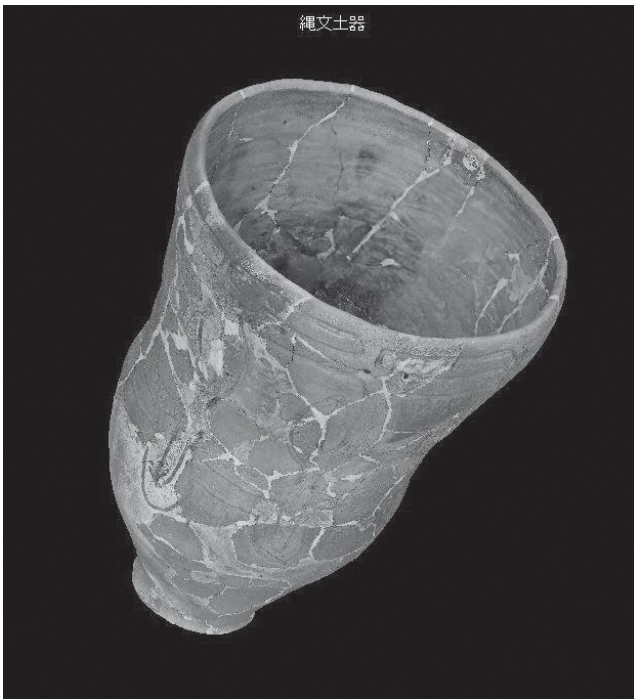
## 2. 「本格的デジタル博物館」の特長とは何か

「弱み」を「強み」に発想を転換したことで、より特長を出すために「本格的デジタル博物館」とは何かを検討し、以下の二点を意識して構築を進めることとした。一点目は、幅広く資料を扱うために、歴史は原始・古代から現代まで網羅することで通史的な視点を取り入れることとした。二点目は、博物館の基本に則り、資料の「収集」「保存」「調査・研究」「展示」を行えることを目指した。デジタルの空間では、「収集」とは「情報の集約」であり、「保存」とは「現状の記録保存」、「調査・研究」とは「再分類・ストーリー化」であり、「展示」とは「情報の発信・公開」であると考えた。特に「展示」においては、次のような既存の博物館ではできない方法で、「情報の発信・公開」に特化させることとした。



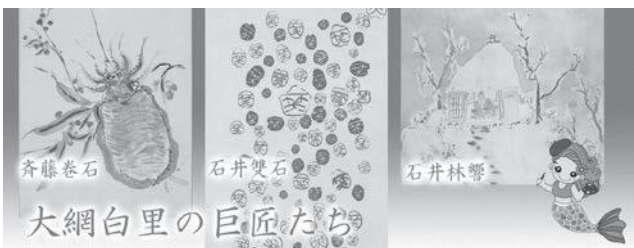
大網白里市デジタル博物館のトップページ

- ・石器や土器などの3D化
- ・書や絵画の高精細画像での公開
- ・くずし字と活字の重ね表示
- ・文化財マップのスマートフォン等での閲覧
- ・文字や地図の重ね表示
- ・『大網白里町史』などの刊行物全文の簡易検索



縄文土器

3D化した縄文土器



美術品の閲覧



『大網白里町史』の検索画面

### 3. 公開後の展開と課題

大網白里市デジタル博物館は、平成30年2月1日に公開を開始し、平成31年1月現在、画像データ上では287点の資料が公開されている。

文化資源の公開・活用という側面から始まったこの施策であるが、様々な波及効果が期待される。学校教育においては、日本史の通史の中に地域の歴史を組み込んだので、歴史の授業や地域学習への応用ができる。生涯学習においては、古文書や古地図への応用ができ、人気が高く、需要も多い歴史に関する講座への活用が可能である。更に教育分野以外の行政施策への側面としての効果もある。財政面では、定期的なコンテンツの追加・改良に関する経費とサーバー使用料しかかからないため、従来の公開施設の経費と比べるとコスト削減になることが期待できる。観光の側面では、マップを気軽に持ち出せることから近隣地域からの来遊が予想される。シティプロモーションの側面からは、今まで公開していなかった文化資源を発信することで、歴史学・民俗学の研究者や地域の文化資源を散策している方々など、大網白里市と全く接点がなかった層が知るきっかけとなることが予想される。

今後の課題としては、既存の博物館が企画展を実施するように、常に新しいコンテンツを作成し、鮮度を保つことが必要と考える。また、より広い層が気軽に閲覧できるように平易な説明を心掛けることも必要である。そのためには学芸員などの専門職員と時代に合った発想を持った職員の配置や人材の育成がポイントである。また、計画的な運用のために定期的な財源の確保も重要な課題となる。これらの課題をクリアしていくためにも、公開して事業終了でなく、公開後も閲覧者からの声に耳を傾け、どのようなコンテンツが求められているかを調査・研究していくことが重要である。

大網白里市デジタル博物館URL

<https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/1223905100>

問合せ先：大網白里市教育委員会生涯学習課  
電話番号：0475-70-0380

# 千葉県博物館協会平成30年度研修会参加報告

野田市郷土博物館 柏女 弘道

平成30年12月12日（水）、平成30年度千葉県博物館協会研修会が千葉県立美術館で開催された。昨年度に引き続き、博物館資料の本質や魅力を引き出すために必要な知識や技術の習得と、照明を活かした展示効果の更なる向上を目的とし、今年度は特にLED照明に焦点が当てられた。講師も昨年度同様、美術照明家で合同会社サムサラ代表の竹下誠司氏を招いた。

照明に関する基礎知識や技術の習得は博物館職員として欠くことのできないものであり、冒頭の千葉県博物館協会の朝生会長のあいさつの中でも、一般の来館者が展示室で感じる非日常感や高揚感を照明の力で引き出すことの大切さが述べられていた。

研修の前半は講師の用意したスライドと持参された様々な照明機器の紹介が行われた。概要は以下の通りである。



▲竹下誠司氏

## 色の見える仕組み

人が色の違いを感じるのは、物体に照射され、その

物体が反射した光で判断している。例えばリンゴはRGB（赤緑青）の三原色で言えば、R（赤）の光を反射し、G（緑）とB（青）を吸収しているため赤く見える。物体の見え方は光によって変わるため、作品や資料の“正しい色”というものは、本来は存在しない。現在は太陽光（自然光）での見え方に近づけていこうというのが一つの指標になっている。その資料をどう見せたいかによって当てる光が変わり、資料の色も変わってくる。

## LEDについて

現在LEDの発光タイプで、白い光を出すには大きく分けて3つの種類がある。赤、緑、青のLEDを全て発光させて光を混ぜるもの、青色のLEDの光を黄色の蛍光体に通すもの、紫色のLEDの光を赤緑青色の蛍光体に通すもの。

太陽光の色分布は波長の短い紫から波長の長い赤までバランスよく検出され、視認性もよい。LEDなどの人工照明を使って、いかにこの色分布に近づけられるかに、各メーカーが取り組んでいるという。現在、最も太陽光に近い光の色分布となるのは紫LED+赤緑青蛍光体タイプだという。しかし、最も太陽光に近いがゆえに、資料に影響を与える紫外線に波長が近いため、フィルターを付けて使用することが必要となる。

博物館でよく使われている白色の蛍光灯の色分布は、青や黄色など特定の波長が極端に強いいため、照度を落とすと資料が見つらなくなる。特に赤色の波長が弱いため、赤色の強い電球色の蛍光灯などを併用することである程度カバーできるという。また、ハロゲン電

ぬいぐるみの製造、販売  
株式会社 エスティー



可愛い動物のぬいぐるみを数多く、生産、販売しています。  
オリジナル商品の開発、生産も承ります。

www.auroraworld.jp

虫害対策(ガスくん蒸)・生物生息調査・空気環境調査

文化財保存の  
エキスパート  
ECC 環境コントロールセンター

【本社】(環境部・研究開発室・営業部・総務部・経理部・情報管理室)  
〒260-0806 千葉市中央区宮崎1-22-10  
TEL 043-265-2261 FAX 043-261-0402  
URL http://www.e-c-c.co.jp

屋内外広告物全般 企画・製作・施工

ステンレス・アルミ製各種看板・電飾看板  
道路標識・街路表示板・観光絵看板  
各種横断幕・懸垂幕・のぼり旗  
プラスチック製品加工

千葉県屋外広告業登録 第202号

有限会社 大窪美術工房

〒262-0002 千葉市花見川区内山町191番地  
TEL 043(257)1221(代) FAX 043(257)1224  
E-mail: art-studio.okubo@apost.plala.or.jp

球は赤色の波長が強く、そのため視認性は良いが熱を多量に発するという問題点がある。

### LEDのメリット・デメリット

LEDのメリットとして、低消費電力による電気料金の削減、長寿命による交換費用の削減、選択できる色温度の多様化、光が熱（赤外線）を含まないことなどがあげられた。反対にデメリットとして、初期導入費用が高額、調光可能なダクトレールに取り付けた場合、ものによっては点滅してしまうものがあり、レールごと交換する必要があることなどがあげられた。

LED照明もレールごとに調光可能なタイプと個別のスポットライトごとに調光可能なタイプがあるため、現在の館の設備をよく理解した上で導入を検討する必要がある。

### フィルターの使い方

スポットライトの先端に様々なフィルターを取り付けることにより、光を全体的に拡散させたり、横に広がらせたりすることができる。特にスポットライトは上から照射するケースが多く、光が縦長になるため、横に広げるスプレッドフィルターが有効だという。

また、色を変えるフィルターもあり、色温度を変えることもできる。例えば4000K（白色）のスポットライトに黄色フィルターレンズをつけて電球色に近づけることなどができる。フィルターだけで2種類の色のスポットライトを使い分けることが可能となる。しかし、逆に3000K（電球色に近い）のライトに青色フィルターレンズをつけて白色に近づけることは避けるべきであるという。LEDによっては、元々青色LEDの光を黄色蛍光体に通して色を変えているため、そこに更に青色フィルターをかけると、一度変えた色を逆方向に更に変えることになるため、演色性が著しく低下するという。

### ライン型LED

スポットライト型だけでなく、蛍光灯のようなライン型のLED照明も各社で開発されている。特に磁石で取り付けられるタイプは、既存の立ちケースや覗きケースに対し、工事をすることなく設置できるため、

比較的安価に導入できるという。ラインも長いものから、短いものを何本もつなぎ合わせて使えるようになっていくものまで様々な種類があり、館のケースの実情に合わせて導入しやすくなってきていると感じられた。



▲ライン型LED照明の紹介

後半は講師の持参した各社のLED照明を使って、壺や絵画などに実際に照射し、見え方の変化を確認した。照明が変わるごとに作品の色が著しく変わり、作品の“本当の色”とはなんであるかを考えさせられた。



▲資料を使ったLED照明の実演

講師が最後に述べていたように、資料をどう見せるのがふさわしいかを考えるのは、その資料を展示する博物館であり、学芸員の役割である。それを考え、また実践する上ではこのような照明に関する知識や技術は不可欠であり、非常に有意義な研修であると感じられた。

## \*春から夏の催し (4月~9月) \*

館園名・行事の種類	行事名	開催期間・期日	館園名・行事の種類	行事名	開催期間・期日
●伊能忠敬記念館	TEL 0478-54-1118		●千葉県立中央博物館大根分館	TEL 0478-56-0101	
展覧会	「第93回収蔵品展 国宝伊能忠敬関係資料の世界」	開催中~5月19日	展覧会	トピックス展「なつかし!昭和の学校」	4月2日~5月6日
展覧会	「第94回収蔵品展 国宝伊能忠敬関係資料の世界」	5月28日~7月21日	展覧会	企画展「身近な道具のものがたり-明治から平成-」	5月25日~6月23日
展覧会	「第95回収蔵品展 国宝伊能忠敬関係資料の世界」	7月30日~9月23日	展覧会	夏休み展示「あなたの街と自然災害」	7月13日~9月1日
●鴨川シーワールド	TEL 04-7093-4803		●千葉県立中央博物館大多喜城分館	TEL 0470-82-3007	
講演会・講座等	「動物友の会月例会」	4月13・20日、5月18・25日、6月22・29日、7月20・27日、8月17・24日、9月21・28日	その他イベント等	体験教室「甲冑・小袖・袴の試着」	5月5日、6月15日
講演会・講座等	「ジュニアトレーナー」	6月8・9・15・16・22・23・29・30日、7月6・7日	展覧会	収蔵資料展「大多喜城の刀剣」	7月11日~10月20日
講演会・講座等	「サマースクール」	7月22・23・24・25・26・29・30・31日	●千葉県立中央博物館分館海の博物館	TEL 0470-76-1133	
●鴨川市郷土資料館	TEL 04-7093-3800		展覧会	平成30年度マリンサイエンスギャラリー	
展覧会	企画展「鴨川のたからもの~指定文化財集合~」	開催中~4月14日		「水辺の外來生物-房総の海と川から-」	開催中~5月6日
●君津市立久留里城址資料館	TEL 0439-27-3478		展覧会	収蔵資料展「魚がつくる模様と形」	7月20日~9月16日
その他イベント等	「甲冑試着体験」よろい武者に变身!	5月3~5日	講演会・講座等	磯・いそ探検隊(フィールドトリップ)	4月~8月(特定日)
●国立歴史民俗博物館	TEL 043-486-0123 心算物 03-5777-8600		●千葉県立美術館	TEL 043-242-8311	
展覧会	特集展示「正倉院文書複製の特別公開 -クラウドファンディングによる製作と展示-」	開催中~5月12日	展覧会	春のアート・コレクション「富取風堂/近代洋画の先駆者 浅井忠10-浅井忠の洋画-/屏風になった作品たち-それぞれの物語-」	4月20日~7月7日
展覧会	「くらしの植物苑特別企画「伝統の桜草」	4月9日~5月6日	展覧会	千葉からはばたく新世代アート「千葉の新進作家 vol.1 志村信裕展」	
展覧会	特集展示「ものけのけの夏-江戸文化の中の幽霊・妖怪-」	7月30日~9月8日		「夏のアートコレクション「不思議の森美術館-美術の世界はとって自由-」	7月13日~9月23日
●佐倉市立美術館	TEL 043-485-7851		●千葉県立房総のむら	TEL 0476-95-3333	
展覧会	収蔵作品展1	4月2日~5月19日	その他イベント等	さくらまつり	4月6・7日
展覧会	収蔵作品展2	5月25日~7月15日	その他イベント等	春のまつり	5月3~5日
展覧会	アートプロジェクト展(ミテ・ハナソウ展2019)	8月3日~9月16日	展覧会	Eco生活事始め-考古資料から見た上手な資源の使い方-(仮称)	8月3日~9月29日
●山武市歴史民俗資料館	TEL 0475-82-2842		●千葉市美術館	TEL 043-221-2311	
展覧会	平成31年度企画展「国指定天然記念物 成東・東金 食虫植物群落の四季」	4月2日~9月7日	展覧会	「オーバリン大学アレン・メモリアル美術館所蔵 メアリー・エインズワース浮世絵コレクション」	4月13日~5月26日
●城西国際大学水田美術館	TEL 0475-53-2562		展覧会	「板橋区美×千葉市美 日本美術コレクション展 -夢のCHITABASHI美術館?」	6月1日~6月23日
展覧会	森洋子の空想化石はくぶつかん 絵本原画と大石化石コレクション	5月14日~6月22日	展覧会	「没後60年記念 北大路魯山人 古典復興-現代陶芸をひらく-」	7月2日~8月25日
展覧会	水田コレクション展 浮世絵の技巧	7月9日~7月27日			
展覧会	浮世絵でよむ南総里見八犬伝	9月17日~10月12日	●千葉市立郷土博物館	TEL 043-222-8231	
●市立市川考古博物館	TEL 047-373-2202		講演会・講座等	千葉氏関連講座(仮称)	6月15日
展覧会	企画展「東京外かく環状道路の遺跡」(仮称)	7月6日~9月8日	●DIC川村記念美術館	TEL 043-498-2672	
展覧会	小企画展「宝相華文」(仮称)	8月10日~1年間	展覧会	ジョゼフ・コーネル コラージュ&モンタージュ	開催中~6月16日
その他イベント等	サマーフェスタ	8月17日	●成田山書道美術館	TEL 0476-24-0774	
●白井そろばん博物館	TEL 047-492-8890		展覧会	収蔵優品展「近代日本の書の広がり」	4月27日~6月23日
その他イベント等	春のそろばんフェスティバル	4月7日	展覧会	企画展「書道学科開設20周年 大東文化の人びと」	6月29日~9月1日
その他イベント等	世界ワールドそろばんフェスティバル	8月4日	展覧会	企画展「浅見錦龍展 千葉県書道協会役員展」	9月7日~10月20日
展覧会	増築記念特別展開催	9月1日~11月30日	●野田市郷土博物館	TEL 04-7124-6851	
●袖ヶ浦市郷土博物館	TEL 0438-63-0811		展覧会	市民コレクション展「日本刀~古刀から現代刀まで~」	4月6日~5月27日
その他イベント等	第24回ミュージアム・フェスティバル	6月1日~2日	●ふなばしアンデルセン公園子ども美術館	TEL 047-457-6661	
展覧会	企画展「袖ヶ浦を流れる川とくらし」(仮称)	5月3日~9月1日	展覧会	「第10回アンデルセン公園園きりみ展」	開催中~5月6日
●館山市立博物館	TEL 0470-23-5212		●船橋市郷土資料館	TEL 047-465-9680	
展覧会	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	4月27日~6月23日	展覧会	「くらしの道具展 -道具が語るくらしの歴史-」	開催中~5月19日
展覧会	館山駅開通100周年記念収蔵資料展「鉄道がはらにやってきました」	7月6日~11月24日	展覧会	企画展「二和・三咲の150年」(仮称)	7月9日~9月8日
展覧会	市制施行80周年記念企画展「館山の昭和と平成」	7月6日~11月24日	●茂原市立美術館・郷土資料館	TEL 0475-26-2131	
●千葉経済大学地域経済博物館	TEL 043-253-9111		展覧会	「市内学校所蔵の美術展」(仮称)	6月22日~9月8日
講演会・講座等	古文書相談室	6月15日	展覧会	美術企画展「林 功展」(仮称)	9月13日~10月7日
●千葉県立現代産業科学館	TEL 047-379-2000		展覧会	郷土テーマ展「高師村名主佐美氏」(仮称)	6月29日~10月20日
その他イベント等	プラネタリウム上映会	8月9日~28日	●和洋女子大学文化資料館	TEL 047-371-2494	
●千葉県立関宿城博物館	TEL 04-7196-1400		展覧会	「鴻台の書II-和洋書道を支えた歴代助手補による作品展-」(仮称)	4月~6月
展覧会	パネル展「野田周辺の石仏たち」(仮称)	4月16日~6月30日			
展覧会	すごろくイズ「のりものの歴史」	7月2日~9月29日			
展覧会	関宿城写生コンクール作品展	9月18日~10月6日			
●千葉県立中央博物館	TEL 043-265-3111				
展覧会	30周年記念トピックス展「開館30年の歩み」	開催中~5月12日			
展覧会	春の展示 明治150年記念事業 千葉の鉄道物語				
	「線路が拓いた「観る・住む・運ぶ」」	開催中~6月2日			
展覧会	企画展「ほにゅうるい」	7月13日~9月23日			

## \* 展覧会案内 \*

**DIC 川村記念美術館**  
**ジョゼフ・コーネル**  
**コラージュ&モンタージュ**

当館のコーネルのコレクションに加え、国内の美術館や個人蔵の箱、コラージュ約50点が集結。また、これまで紹介されることの少なかった映画を上映し、コーネルがデザインした雑誌等の印刷物、日記や手紙などの資料も展示することで、作家の仕事を貫く精神を見つめ、制作に向かう姿勢や人物像にも迫ります。

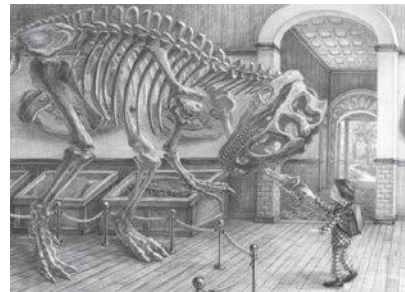


「ジョゼフ・コーネル」展ポスター

<会 期>開催中～6月16日(日)  
 <休館日>月曜日(ただし4月29日、5月6日は開館)  
 4月30日、5月7日  
 <観覧料>一般1,300円 学生・65歳以上 1,100円  
 小・中・高生 600円

**城西国際大学水田美術館**  
**森洋子の空想化石はくぶつかん**  
**—絵本原画と大石化石コレクション—**

森洋子『空想化石はくぶつかん』(学校法人城西大学出版会、2018年)は、水田記念博物館大石化石ギャラリーの化石を題材に制作された絵本。化石博物館を訪れた主人公が想像を広げ、数億年前の世界に遊ぶ物語が鉛筆の細密な線で描き出されています。本展では、絵本の原画を、絵本に登場する化石とともに展示します。


 森洋子『空想化石はくぶつかん』原画  
 鉛筆、色鉛筆、紙、  
 写真コラージュ、紙、  
 38.3×54.3cm、  
 2016年、作家蔵

<会 期>5月14日(火)～6月22日(土)  
 <休館日>日曜日、月曜日  
 <観覧料>一般300円 高校生以下無料

**成田山書道美術館**  
**書道学科開設20周年**  
**大東文化の人びと**

東洋文化研究を基礎に開設された大東文化大学では、多くの書家や研究者を輩出してきました。1969年に書道文化センター、2000年には書道学科を設置。青山杉雨や松井如流らが指導にあたってきました。本展では、収蔵品の中から、戦後の書をリードした大東文化の人びとを紹介します。


 青山杉雨  
 《眼中之人》1984年

<会 期>6月29日(土)～9月1日(日)  
 <休館日>月曜日(祝日の場合は、翌平日)  
 <観覧料>一般500円 高校生・大学生300円 小・中学生無料

**千葉市美術館**  
**オーバリン大学 アレン・メモリアル美術館所蔵**  
**メアリー・エインズワース浮世絵コレクション**  
**—初期浮世絵から北斎・広重まで—**

アメリカ人女性メアリー・エインズワースは、来日した明治39年(1906)から浮世絵版画を収集し、その数は1,500点以上にものぼります。本展は、珍しい初期浮世絵から、喜多川歌麿、葛飾北斎等による誰もが知る名作まで、浮世絵の歴史をほぼ網羅することができるこの貴重なコレクションから、珠玉の200点を選びすぐって紹介する初めての里帰り展です。


 葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》大判錦絵  
 天保2-4年(1831-33)頃 アレン・メモリアル美術館蔵

<会 期>4月13日(土)～5月26日(日)  
 <休館日>5月7日(火)  
 <観覧料>一般1,200円 大学生700円 小・中学生、高校生無料

# 日誌抄

## 事務局

### ■第1回役員会

平成30年12月18日(火) 10時~12時  
会場/千葉県立中央博物館  
内容/平成30年度事業の中間報告等について

## 研修委員会

### ■研修会講師打合せ

平成30年11月8日(木) 10時~11時30分  
会場/千葉県立美術館  
内容/研修会について

### ■研修会

平成30年12月12日(水) 13時30分~15時30分  
会場/千葉県立美術館  
内容/「博物館における展示照明について~LED照明を中心に~」

### ■第2回委員会

平成31年3月13日(水) 15時~16時  
会場/千葉県立美術館  
内容/平成30年度研修会について  
平成31年度の事業計画と予算について

## 調査研究委員会

### ■第1回委員会

平成30年8月30日(木) 13時30分~15時40分  
場所/千葉県立現代産業科学館  
内容/①調査研究委員会のこれまでの活動について  
②平成30年度調査研究委員会の活動内容について

### ■第2回委員会

平成30年12月19日(水) 15時~16時50分  
場所/千葉県立現代産業科学館  
内容/①平成30年度調査研究委員会研究報告会について  
②平成31年度以降の調査研究委員会の活動方

針等について

### ■視察(打ち合わせ)

平成31年1月8日(火) 13時30分~15時  
場所/明治大学  
内容/講師依頼及び講演内容打ち合わせ

### ■研究報告会

平成31年2月27日(水) 13時30分~16時30分  
場所/千葉県立現代産業科学館  
内容/「共生社会の中の博物館~特別支援教育とのかかりから~」

## 広報委員会

### ■第3回委員会

平成31年2月1日(金) 14時~16時  
会場/千葉市美術館  
内容/『ちばの博物館』第143号の編集について

## 地域振興委員会

### ■各地域ブロックの活動

平成30年9月~平成31年2月  
内容/各ブロック会議の開催

### ■ブロック代表者会議(中核館会議)

平成31年2月下旬

### ■情報伝達訓練

平成31年3月中旬

## 編集後記

「ちばの博物館143号」をお届けいたします。加盟館の皆様には、原稿作成に当たりご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

この冬は空気が非常に乾燥している日が続いたこともあり、県内では1月中旬よりインフルエンザが流行しました。当館を訪れる予定の小学校の中にも、学級閉鎖のため来館できない学校がありました。博物館は多くの方が出入りする場所となります。来館者はもちろん、自分たちのためにも、日々健康に気をつけていかなければと思う毎日です。  
(高原)

## 印刷物

のことならおまかせください!!

チラシ・ポスター・POP・シール・名刺・封筒・  
ハガキ・DM・カタログ・パンフレット・伝票etc

有限会社エーワンネットワーク  
〒273-0015船橋市日の出2-2-13 第2ナカイビル102  
営業時間/9:00~18:00 定休日/日曜・祝日  
**TEL.047(437)6208**



関東港業株式会社  
KANTO KOGYO Co., Ltd.

Protect Cultural Assets !!

IPM理念に基づいた  
保存環境の調査~提案・施工まで  
文化財保存対策なら当社にお任せ下さい

専用くん蒸庫完備  
(各種薬剤対応)  
28m<sup>3</sup>/9m<sup>3</sup>対応

各種くん蒸施工・環境調査・クリーニング・資料保存用品 ect

〒261-0002  
千葉市美浜区新港58-2  
TEL 043-241-1721 FAX 043-241-0080  
http://www.kan-ko.co.jp

水族館・動物園等の企画/デザイン・設計・施工・管理  
**ONY KOBO CO., LTD.**  
株式会社 鬼工房  
東京都千代田区神田神保町 2-48  
TEL 03-6051-1111 FAX 03-3221-1102 FAX 03-3221-1183